

随 想

巡り合い

老人保健施設ベルヴューハイツ施設長 近 藤 利 彦

小学低学年時、ヤンチヤを沢山した。そのたびに警察に補導された。最後に豊川署（当時国府町）に連れていかれ、そこで留置場を見せられ、このままワルを続けると、

「これと同じ窓のない部屋にいれるぞ」と言われた。小学生後半時、豊川市諏訪町にあった、キリスト教会日曜学校に通い伝道をうけた。

スウェーデン人アルフオンス神父から一冊の本を与えられた。アルベルト・シュヴァイツァー博士著「ジャングルの中で」、博士はノーベル平和賞受

賞している。博士と同じ様な人生を送りたいと思った。

昭和三十九年田舎の高校から、建築家を目指して名古屋に通学した。往復に四時間以上かかりバイトと両立不可能の為に退を覚悟した。当時父は肺結核で大府療養所入院中で、母一人で五人家族を支えていた。刈谷高校出身、尺八同好会の磯村君が安い下宿を紹介してくれた。名古屋城二の丸にあった学生会館「帝國陸軍第三師団歩兵第六連隊兵舎」。(現在犬山明治村に明治建造物として

あります)。

当時バイト一時間百円、寮費は二千円位であった。学業とバイトの両立で順調に進学できた。

栄のジャズ喫茶「MJ」でバイトしていた時、風貌がヤクザに見えた沖縄出身の玉城さんと非常に気が合い、終生忘れない友人となった。医師で「近藤君医師になるなら早く学校に行くべきだ」と勧められた。運命のいたずらから「朝日新聞」に、岐阜県にあった神岡鉱山（現在スーパークミオカンド）（ノーベル物理学賞「小柴昌俊博士・梶田隆章博士」）から医学生に奨学金貸与します。この記事を見て次年度受験を決めた。

両親に三つの事で感謝している。

(一) わがままし放題を許した。

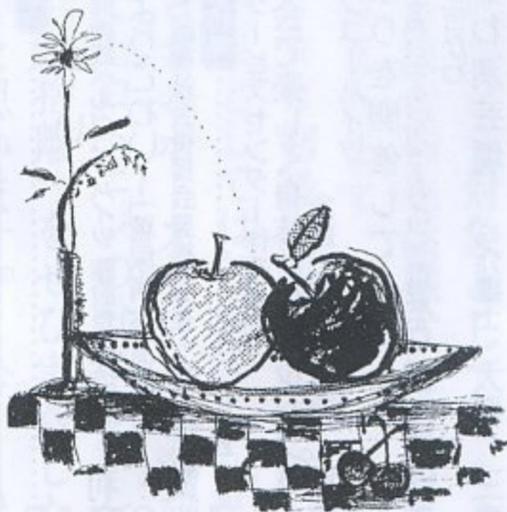
(二) 健康な体を頂いた。

(三) テムヤテミクタ↓

「挨拶」※つくりを書いていくとこの漢字に

ベルヴューハイツの初日、施設長室の大きな額縁に滝川一興名誉会長の履歴書を見て非常に驚き、感動した。私の人生の終着駅に辿りついた。

「神の御加護を」



コロナよりこわい「糖尿病」撃退作戦

(福)一誠福祉社会後援会豊橋会長 井上賢照

今年はコロナウイルスの世界的な蔓延で、年初から大さわぎとなりましたが、糖尿病のことも忘れてはいけません。

日本の糖尿病患者数は推計で約二〇〇〇万人、特に三分の二が六十五歳以上だといわれております。

私の長男も糖尿病から腎臓病になり、とうとう透析患者になりました。毎週三〜四回、死ぬまで透析を続けなければならぬのです。私の知人や友人も若くして命をなくしております。

私も毎月一回、病院で血液検査をしており、自

分の血糖値が上昇傾向にあることを確認しております。つまり、糖尿病患者の予備軍です。

そこで、一念発起!! 糖尿病撃退大作戦を敢行することに決めました。

第一作戦は食事療法で、体重を三kg減量し、腹囲を六cm縮小することです。これで身長一五六cmの私が六十八kg、腹囲一〇〇cmになるのです。目標は年末までの七十五日間で

す。令和二年十二月三十一日まで頑張る決意です。

ポイントはこの通り
一・起床は午前六時頃、

就寝は午後十一時頃。

二・朝食は自分で用意。

三・コーヒー、緑茶を必ず二〜三杯飲む。

四・卵は一日三個食べる。

五・「サバ缶タマネギ」と「酢キャベツ」を作って食べる。

六・野菜や海藻、キノコ、魚肉、大豆製品を積極的にとる。

七・水は一日二ℓぐらい飲む。

八・酔を一日に大きじ一杯以上飲む。

九・ごはんは「麦めし」や五穀米にする。

十・朝食は八時、昼食は十三時、夕食は十八時を原則とし、一日三食とする。

次は第二作戦の運動療法です。

一・「インターバル速歩」を取り入れる。

ゆっくり歩き、速歩きを、三分交互に一日三十分、週に四・五回実行する。

二・蒲郡のラグーナにある「タラソテラピー」で海水中を歩く運動を週二回以上やる(入会済み)。

これで私の血糖値が下がれば万々歳です。



秋の行事特集

○デイサービスセンター作楽荘
運動会で楽しく身体をリフレッシュ!

介護士主任 安藤裕司

二〇二〇年、今年は新型コロナウイルスの流行という今まで経験した事の無い年になりました。

三密が叫ばれる中、当事業所においても三密をどのように避け、利用者の方々がいかに安全に楽しんでいただけるかが大きな課題として突き付けられています。

行事を模索する中、十月十九日〜二十四日の間、感染症に十分気をつけ、工夫を凝らした運動会を開催いたしました。

司会者による運動会の開会宣言と国旗掲揚に始まり、ラジオ体操・パン食い競争・巻取り競争・



落とさないよう慎重に!

風船とばし、そして締めは表彰式と入念にプログラムを組みました。巻取り競争は急いで巻取るとうちわの上の玉が直ぐに倒れてしまい、それを直したり、それでも急いだりと、皆さん一喜一憂、多くの歓声が上がりました。大変盛り上がりしました。

風船とばしは、枠の中に置かれた風船を離れた場所からお手玉をとばして、枠から出た風船の数を競う競技です。意外に風船の動きが不規則でお手玉を上手く転がさない枠外に出ません。皆さん強弱を調節しながら奮闘していました。

パン食い競争では職員も負けず、パンに向かって身体を伸ばしたり曲げたりする動作がコミカルで、利用者の方々や職員はみんな大笑いしていました。

今年は密な状態が出来てしまう綱引きや玉入れなどは行わず、チーム競技というよりも個人競技を中心に風船とばしや巻取り競争を計画し行いました。毎年恒例だったパ



気まぐれな風船さんに悪戦苦闘

ン食い競争は1度に行う人数を五人から三人に減らし行いましたが、やはり団体競技が無いのは少し寂しい気がしました。

行事やボランティアが少なくなっている昨今、今回のように工夫した行事を行う事で利用者の方々の楽しそうな表情を見る事が出来て良かったです。

今後も今の状況下でいかに楽しんで笑顔になっていただけるかを考え企画して行きたいです。

○ベルヴューハイツ 秋祭りを開催して

地域包括支援センターベルヴューハイツ 社会福祉士 菅 沼 朋 美

毎年恒例の納涼祭、昨年は三百人を超す参加者で賑わっていたことが思い出されます。しかし今年にはコロナ禍により残念ながらその大イベントが中止となりました。

そこで入所者の皆さんに楽しんでいただける催しをと、行事委員が中心となり考えた行事が九月二十六日におこなわれた「秋祭り」です。開催にあたっては、第一に感染予防の観点から少人数のグループに分け、時間差での祭りへの参加を考えました。また祭りの雰囲気を感じていただく様に会場となる3階

フロアにカラフルな提灯を飾り、フードコーナーやゲームコーナーで使うコインも用意しました。

秋祭り当日は、皆さんとても楽しみにしてくださいました。笑顔で参加してくれました。

フードコーナーは、たこやき・わらびもち、またその両方が半分ずつ盛り込まれたお皿が並び、好きな物を選んでいただきます。一番人気だったのは両方が味わえるお皿でした。ドリンクはおやつレクリエーションでも大好評であった甘酒・冷凍バナナ・みかん缶・パイ缶をミキサーした栄養満点



フードコーナーは大人気

なドリンクを提供。皆さん、「本当においしいね!」と堪能されていました。

ゲームコーナーはボール投げと射的です。私は当日射的の係をしました。男性入所者さんの中には、「私は射的の選手だったんだよ」と見事に的を倒された方もいました。逆に女性の入所者さんの中には、コルクガンが思ったより勢いよく発射されたものですから、それに驚き目をパチクリされて

いた方もいました。的にコルクガンを近づけたら、職員に頼ったりと皆さん撃ち方は様々でしたが、的に狙う真剣な眼差し、的に当たった時の満面の笑み、生き生きとした表情がとても印象的でした。

コロナ禍での秋祭りでしたが、普段とは違った雰囲気を楽しんでいただけた様に思います。一歩一歩取り戻していきたいです。



一致団結! 的に当たれ

○DSC吉かわ

吉かわ演芸場

介護士 大坪 三恵

今年の敬老の日は九月

二十一日。DSC吉かわ

では「敬老会」を企画し、

その担当となった私たち

三名は、このイベントに

向けて二ヶ月前から企画

をし、話し合いを重ねて

きました。敬老会は、利

用者様・スタッフ双方に

とって特別な日です。コ

ンセプトは『笑顔』とし、

この一日を楽しんでいた

だける内容に決めていき

ました。そして、

・ひよこオンステージ

・コント「もしもこんな

患者がいたら」

・コント 早着替え「う

ちらはつらいよ!」

・スペシャルおやつ

・スライドショー

と、午後二時から帰るま

での約二時間を、トイレ

休憩を挟みながらの長丁

場でお楽しみいただきま

した。

担当者はコントの台本

作りや小道具の調達や作

成、敬老会に彩りをプラ

スする壁飾りを利用者様

とともに作ったりしながら

ら敬老会当日に向けて手

作りの舞台を整えまし

た。そして、コント出演、

見守り、おやつ提供など

全スタッフに役割を配し

ました。

当日のオープニングは

ボランティアの「ひよこ」

さんによる南京玉簾から

始まり、出だしは順調。

吉かわには台本から役者

までオールマイティにこ

なせるスタッフがあり、

期待通り「もしも」の

コントは大爆笑。体力勝

負の早着替えコントも、

演者の大変さとは裏腹に

笑い声の絶えない演目と

なりました。スペシャル

おやつは「*○○○(内

緒)」を召し上がっていた

だき、スライドショーへ。



オールマイティスタッフ(右)



あっはっはっ! お腹痛い...

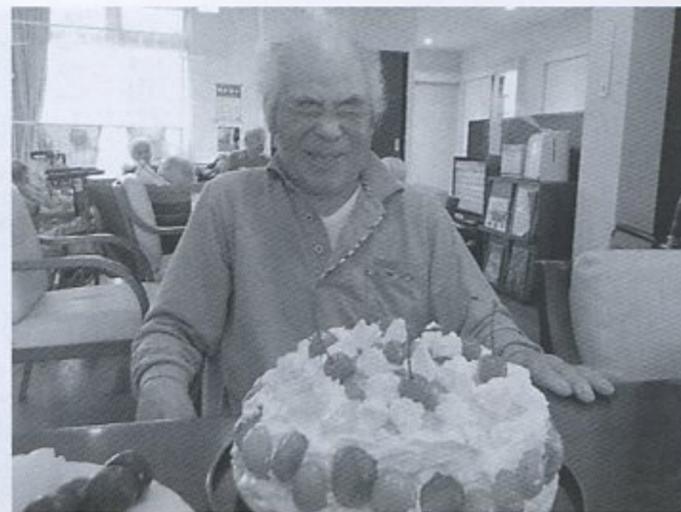
今年のイベントを織り交
ぜながら利用者様が笑顔
で数多く登場するよう構
成され、作成者の愛情あ
ふれた心温まる作品とな
りました。

コロナ禍にあって準備
から実施まで大変でした
が、笑顔で締めくくれた
こと、「楽しかった」と
言ってくれたことが
全てとなり、たった一日
だけの『吉かわ演芸場』
は大成功で終えることが
できました。「*ピレーネ」

○グループホームきらら
新たなイベントに挑戦

介護士 牧野 礼子

当事業所では昨年まで様々なイベントを企画し、行って参りました。しかし、終息が見えぬ新型コロナウイルスの影響を受け、イベントの変更を余儀なくされています。今まで行っていた「賀茂の花しようぶまつり」、「長篠のぼり祭り」等々、季節を感じていただける外出行事も感染予防の観点から残念ながら中止せざるを得なくなっています。そこで、これまでとは変わった形で、ホーム内で、小規模ながらも楽しんでいただける様なイベントを企画し行っております。



こんなに祝ってもらって感激

これまで、外出や外食、そしてご家族様の協力を得ながら自宅への訪問等、ご本人様のご希望に寄り添い企画して参りましたが、今の状況下ではどうしても感染というリスクがついてまわります。そこでこの秋から一年に一度の最大のイベント「誕

生日会」に照準を合わせ、ホーム内で手作りのオムレットやモンブランケーキ、お祝いの豪華な花束を用意。

皆さんで一つのテーブルを囲み、「何をやるだん？」と周りは目をキョロキョロ。主役が登場。「今日は〇〇さん、〇歳の誕生日です。おめでとございます。」の発声に一気に「ワァー」と歓声。その場が盛り上がったところで花束を贈呈。誕生日会は最高潮に達します。そんなシナリオで、素敵な笑顔でのアットホームな誕生日会へと形を変え取り進むこととしました。皆さんにお祝いの言葉を掛けられ、目頭を拭う入居者様の姿に職員も感動



「コロナ」に負けません

し、言葉に詰まるワンシーンも見受けられました。この他にも、中秋の名月にお茶会、スポーツの秋にユニット対抗輪投げ大会等を催し、季節を体感してもらっています。今まで普通に行ってきた当たり前のイベントを再度見直し、新たなイベントの構築に挑戦。新しい楽しみ方を入居者の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

施設だより

作楽荘

○GoToのんほいパーク

介護士 藤田 慎之介

行楽の秋。特養作楽荘では10月7・14日の2日に分けて「のんほいパーク」へ行ってきました。私は7日に同行。当日の天気は曇っていて今にも雨が降り出しそうでした。行きの車内では本降りの雨にならぬよう、みんなでお祈りし、その甲斐あってか、傘をさす場面も少しありました。予定通り園内を回る事ができました。

今回のお目当てはYさんが見たがっていた猿・象・シマウマです。最初はお猿さん。名物猿デツキでたくさんの種類の猿

を見る事ができ満足。次は象さん。その大きさにびっくり。「長い鼻だね」と暫くの間、鼻の動きを観察していました。最後はシマウマ。「不思議な模様だね」なんて話をしながら遠目でシマウマの群れを眺めました。他にもペンギンやライオン、レッサーパンダも見ることができました。

帰荘後、「今日は楽しかったよ」と一言。喜んでもらったのが何よりです。



久々の外出を満喫

○福祉体験学習代替事業

ボランティア委員会
委員長 菅澤 洋介

今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で色々な行事が代替や縮小を余儀なくされています。毎年、夏休み期間を利用して、市内の小中高生を対象とする福祉体験学習が実施されていましたが、今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止となつてしまいました。

その代替事業として、秋に作品交流を行うことになりました。作楽荘には南陽中学校の生徒さんからメッセージが添えられた折り紙の作品が届きました。メッセージには「コロナに負けるな」「お互いコロナを乗り越

えましょう」等の心温まる言葉が書かれており、とても感動しました。



南陽中学の生徒さんに感謝

早速、デイサービスに協力してもらい、生徒さんが元気になるメッセージを添えて、お返しの作品を学校に送りました。

直接会って話ができなくても、作品を通じて会話ができた交流を因りました。このような素晴らしい事業に携われたことに感謝いたします。ありがとうございました。

美光ハイム

○長寿を心より祝う

介護士 上田 能次

去る九月二十一日、「長寿祝賀会」が開催され、新職員として配属されたばかりの私も緊張のなかでの初参加となりました。コロナ禍ということで、例年のように来賓の方やアトラクションを演じて頂くお子様方もみえず、粛々と祝い膳に箸を運び乍ら歓談されていきました。ある時、入居者様からこんな話を伺いました。戦争中、豊川の海軍工廠にかり出され、勤めていた時に空襲にあい防空壕へ逃げ込んだそうです。防空壕の天井が落ちて座っていた腰まで土砂で埋まり、自力では立てなく

なったそうです。咄嗟に前に立っていた女の人の腕を必死で掴むと、その人は掴んだ手を振り解いて我先に逃げようとしたそうです。そんな必死の押し問答をするうちにスポンと体が抜けて助かり今があるそうです。



来年こそはもっと盛大に

その様な辛い体験の上に、今の平和な日本があると思います。それを思うと心より感謝の想いと、ご長寿を祝う気持ちでいっぱいになります。

倶楽荘

○くららまつり

介護士 今泉 夏美

特養倶楽荘とグループホームくららでは毎年九月に合同の「くららまつり」を開催していますが、今年はコロナ禍ということもあり、賑やかには言えないうわけにもいかず、慎ましく小規模での開催となりました。

食事はユニットごとで調理し、散らし寿司・茶わん蒸し・すまし汁を提供しました。「美味しいね」と、皆さん美味しそうに召し上がられています。おまつりを少しでも楽しんでいただけるよう、お菓子のすくい取りを企画しました。お玉でのお菓子すくいは、「あ



こんなに沢山すくえた

れく上手く取れないわ」「あともう少し取れたらなあ」「どうやったらか山取れるだろうね」等々、苦戦している様子。それでも皆さん、とても楽しんで参加されているように見えました。取れた後は、「わし沢山取れたよ」「みんなはどれくらい取れた」と話題は尽きず満面の笑顔でした。ささやかながらも楽しいおまつりになりました。

GHくらら

○敬老会を開催して

介護士 本田 雅揮

去る九月二十一日に敬老会を開催いたしました。

当日は、長寿のお祝いを込めて花屋さんよりフラワーアレンジメントを配達してもらいました。ダイルームのテーブルの上にそのお花を飾らせてもらうと、皆さん色鮮やかなお花を見て、「わあー綺麗。素敵だね。立派だね」と言って大変喜んでくれました。せっかくなので、綺麗なお花を前に記念撮影をしました。

そして、いよいよお待ちかねのティータイム。それぞれのテーブルにお抹茶とお饅頭をご用意すると、「美味しい」「こんな



ご長寿おめでとうございます

美味しいもの初めて食べたよ」と満面の笑みで食されていました。

お腹も膨らんだところで最後に、皆さんで子供の頃の懐かしい曲「故郷」を歌ってお開きといたしました。

素敵な笑顔を見られて良かったです。今後もお身体に気を付けて、いつまでもお元気で。ささやかながらとても楽しい敬老会になりました。

斯楽荘

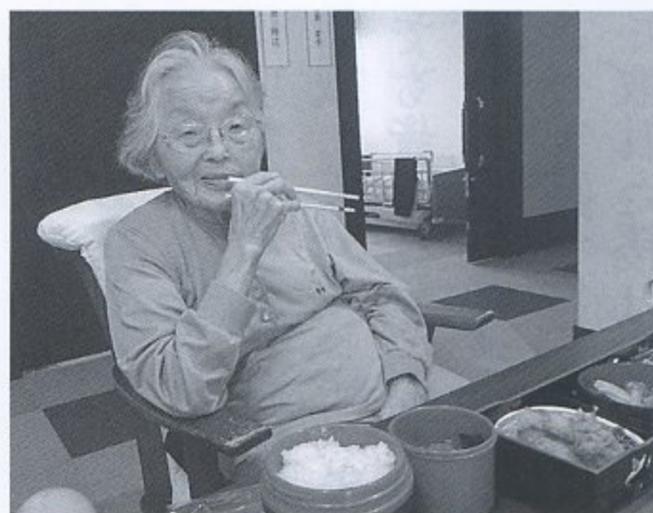
○明るく元気よく

介護士 千駄 康記

九日二十一日に敬老会を行いました。今年は豪華な料理と色鮮やかな和菓子を用意しました。

料理の蓋を開けると開口一番、「美味しそうだよ」「こんなに沢山食べれるかや」との絶賛の声。食後には「凄く美味しかったよ」とのお褒めの言葉を頂き、準備した甲斐がありました。

午後は職員の話しからスタート。職員が順に、「おめでとう」の言葉と皆さんにまつわる話しをしていきます。その後施設からお花とプレゼントを贈呈。次いで若かりし頃に流行った歌謡曲でカ



まだまだ元気で頑張りますよ

ラオケ大会を行い、とても盛り上がりました。良き歌はいつまで経っても色褪せないですね。新型コロナウイルスの影響で外出が出来なくなっています。屋内で楽しめる事を考え、少しでも皆さんが明るく楽しく元氣良く、そして斯楽荘で過ごせて良かったと思えるような施設にしていきたいと思えます。皆さん元氣に長生きして下さいね。

ベルヴューハイツ

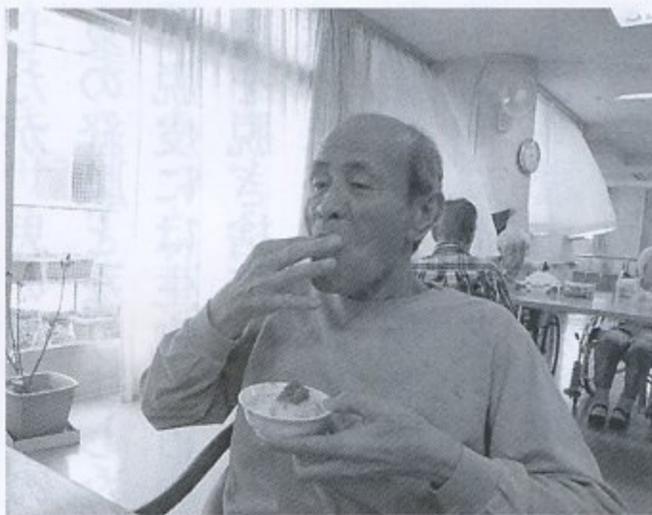
○手作り味噌の天地返し②

管理栄養士副主任 野澤 千鶴

言葉の響きがなんだか格好いい『天地返し』。この言葉は土の表層と深層を入れ替える農耕用語だそうです。今年の6月、入居者の皆さんと一緒に仕込んだオリジナル味噌、均一に熟成させる為に樽を開け、言葉通り味噌の天地を返します。醗酵ムラの解消と熟成の促進が出来、更に美味しい味噌が期待できます。樽の中は味噌らしい色になり、いい香りが漂ってきます。思わず樽の中に顔を入れそうになるほど皆さん香りを楽しんでいました。その一ヶ月後に未だ熟成不足で少々塩辛い状態

でしたが、待ち切れず食レクで味噌焼きおにぎりを作るようになりました。女性入居者の方は職員よりも上手にしかも熱いご飯もものともせず素早く握ります。甘めの味噌ダレを塗り、焼き上げます。もう部屋中が香ばしい、五平餅のような香りに包まれながら、「もう一つ食べたいなあ」と、笑顔

でほおぼる男性陣でした。この次はいよいよ豚汁を作ります。



俺、食べるのが専門

ベルヴューハイツデイケア

○趣味を極める

看護師副主任 伊藤 知子

当事業所のデイケアをご利用されて4年、御年90歳の松井三枝子さん。半年に1回のサイクルでベルヴューハイツに自作の油絵を飾ってくださっています。

45歳の時に豆腐屋で機械に挟まれ、右手5指を切断。持ち前のバイタリティーで自営の農業を手伝っていました。

65歳になり、先生について絵を習い始めました。もともと絵を描くのが好きだったようでめきめきと上達され、二科展に6年続けて入選されたそうです。豊橋市美術館でも個展を開き、大変好評だ

ったと伺いました。

昨年、目を患い創作活動は仕方なく止めることとなりました。

ベルヴューハイツに今飾ってある油絵「ピエロの楽園」は88歳の時に描いた作品。色々と見たものを想像でキャンバスに表現され、凡人には到底描けない独特の画風です。百聞は一見に如かず、

作品を見て頂ければ、その凄さ、才能が分かると思います。必見です！



油絵「ピエロの楽園」

DSG吉かわ

○脱皮

介護士 片岡千晴

夏本番を迎えたある日の出来事。今年も蟹が、しかもサイズ違いで三匹も当所を訪れてきました。昨年同様、水槽で一匹ずつ飼育を行ったのですが、何日か経つとミニマムサイズの蟹が動かなくなり成仏してしまいました。しかし、よく見ると水槽内には白と黒の二匹がおり、まったく動かない白い蟹は脱皮した殻だということが判明しました。初めて蟹の脱皮を間近に見ることができ、しばらくはこの話題で盛り上がったものです。そんな蟹たちとは二ヶ月余りを過ごした後、自然へ帰しま



笑顔で脱皮!?

したが、思いもよらぬ一夏の経験となりました。脱皮には生物が古い表皮を脱ぎ捨てるという意味のほか、古い考え方や習慣から抜け出して新しい方向に進むという意味もあります。私の行うべき業務は従来のやり方を変え、『脱皮』を目論みながら取り組んでいるところ。うまく前進できればいいな、と思っています。

麗楽荘

○秋の散歩径

介護士 井手友莉

暑かった夏も落ち着きそよ風が気持ちよい季節になりました。コロナウイルスにより外出が制限され、入居者様は室内で過ごされることが多くなっていますので、気分転換に少人数でお散歩へ行ってきました。外の天気も良く、「気持ちいいね」と皆さんの方から話しかけてくれ、外出を楽しんでいました。



別名「曼珠沙華」

施設周辺を散歩していると彼岸花が目に入りました。それを摘み取り、「めっきり秋らしくなつたね。彼岸花は夏の終わりから秋にかけて咲く花だよ」と教えてくれました。



外の空気をいっぱい吸って

まだまだコロナウイルスの影響で外出はできませんが、皆さんに少しでも季節を感じて頂けるようお散歩日和の間は少しでも外へ出て気分転換が出来ればと思います。

✿ デイサービス麗楽荘

○中庭の巨大植物

介護士副主任 金田 智

麗楽荘の中庭にはとても大きな植物が植えられています。それは大きく育ったパイヤです。このパイヤは今では 100cm 程に成長し、ご利用者の皆さんから注目のまなざしを浴びています。「八手」に見える葉は団扇に出来そうなくらい大きく立派に育っています。

この秋口に花が咲きました。その大きさが 1cm くらいの可愛らしいクリーム色の小さな花だったので、葉をかき分けないと見つからず鑑賞するのに苦労をしました。ご利用者さんは「思ったより

小さい花だね」と仰っていらっしやいました。

今年は残念ながらパイヤの実が付く事はありませんでした。

調べてみるとドライフルーツにすると美味しいと書いてあり、種子は食べると山葵の味がするそうです。

変人の私のような植物ですね。ご利用者の皆さん、実が付くのを楽しみに待っていて下さい。



早くパイヤ食べたイヤ!

✿ 和光ハイム

○キリマンジャロの雪

入居者 大木勇夫

僕はこれまでの人生の中で、アフリカ大陸のタンザニア北東部にある最高峰、キリマンジャロへ四季は関係なく五回登山をした。(そのうち四回はマラングルートで登り、一回はマチャメルトで登った)。

ギルマンズポイント (5685m) は登頂扱いをしてくれるが本当の頂上は、ウフルピーク (5895m) である。一度目は高山病でやむを得ず下山し、二度目で無事頂上まで行く事が出来た。

ギルマンズポイントを越え火口壁に出ると 30m



無事に登頂しました!!!

程の頂上氷壁があり、その氷壁から工事現場のトラロープみたいな黄色に黒の模様のようなものが垂れ下がって風に揺れていた。

これがアーネスト・ヘミングウェイの「キリマンジャロの雪」(1936年にアーネスト・ヘミングウェイが発表した短編小説) に登場する氷河に埋もれて死んでしまったヒョウの尻尾だと分かった。※もちろんこれは嘘である。

GHOURS

○長寿を祝う会

介護士 山本尚子

九月二十一日にホームで長寿を祝う会を行ないました。今年はコロナウイルスの影響で、ご家族の方に来て頂くことが出来ずに残念でしたが、入居者の方々に楽しんで頂くおとうと色々と工夫をしてみました。

いつもは各フロアで食事をされておられますが同じフロアで一緒に召し上がられ、職員も入り賑やかに食事をしました。「凄いご馳走だね」「お刺身美味しそうだね」と食べる前から普段と違う食事に皆さん興奮されておられました。隣同士で歓談しながらの食事。い

つも少食の方が、「美味しい」と言っていて箸がすすむこと。

食事後は、職員の余興を楽しんで頂きました。歌の披露があるとしっと聴き入っておられ、またゲームでは皆で声を上げて大笑い。職員も一緒になって楽しい一時を過ごさせて頂きました。

来年こそはご家族の方と長寿を祝う会を行うことが出来ますように切に願っています。



コロナに負けません！

奇楽荘

○極上スイーツはいかが

介護士副主任 小林真紀

コロナ感染予防のため、楽しむ機会が減ってしまっているのが現状です。皆さんの楽しみは食べる事。特に甘い物が大好きです。

いつものおやつ時とは少し変わった趣向でバイキング形式にして好きなものを選んでいただけよう『スイーツバイキング』と洒落こみました。

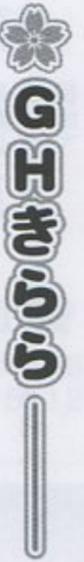
色々選んでいただけよう少量を数種類用意し、バリエーションに富んだ物にしました。しかし横文字はなかなか通じず、パウンドケーキかすてら・ブツセⅡどらやき・スイーツポテトⅡきんと

ん：と訳してこの中からおひとつ。杏仁豆腐・アイスクリーム・コーヒーゼリーのなかからおひとつ。また、イチゴソースでデコレーションし、おしゃれに提供。いつもは少量しか摂られない方に、「もう一ついかがですか？」と聞くと「いいのーかん？ほんじゃおくれん！」とおかわりされる方もいて喜んでいただけました。

次の楽しみは何にしようかしら？



久しぶりのアイスクリーム！



○感動の紅白饅頭

介護士 水野 忍

毎年恒例の富岡地区ふるさと会館で行われている敬老会は新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、ご長寿をお祝いしたいと思う気持ちが強くなり今年は事業所で行いました。

メニューはリクエストに応えるため、そしてコスト削減も兼ねて手作りとなりました。職員と入居者の皆さんと一緒に頂いて支度をし、美味しく頂きました。

アトラクションは職員から皆さんへ、日頃の感謝の気持ちを形ある物で伝えたいとの思いで一人一人に感謝状と紅白饅頭

をお渡ししました。感謝状を読み上げる時には、皆さん真剣に傾聴されており、緊張した面持ちが大変印象的でした。中には涙ぐむ入居者の方や、感謝状に何度も目を通して見ている姿を見て、私達職員も感動しました。感動の後に紅白饅頭をいただき、お腹も心も満たされ、笑顔の絶えない敬老会となりました。入居者の皆さん、ご長寿を心からお祝い申し上げます。



日頃の感謝を込めて

本部 日誌

令和2年9月
16日 本部会議(於 斯楽荘)

令和2年10月
14日 本部会議(於 斯楽荘)

22日 中期・長期計画会議(於 作楽荘)

28日 デイサービス・デイケア合同会議(於 BVH)

作楽荘 日誌

令和2年9月

1日 聖隷クリストファー大学(社会福祉士実習生1名、9/9)

9日 中野地区民生委員定例会(包括於 中野地区市民館)

10日 福岡地区民生委員定例会(包括於 福岡地区市民館)

12日 寿司祭り

14日 給食会議

17日 シニアの食とお口の健康講座(包括於 はいっぶ)

20日 てつやカフェ(高齢者の居場所)健康講座(包括於 小池鉄山町集会所)

21日 誕生日会

23日 長寿祝賀会

24日 豊橋市包括運営協議会(白井リモート)連絡会議

29日 えがお福岡(予防サロン)モニタリング訪問(包括於 福岡地区市民館)

29日 職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊於 大清水センター)

7日 中野地区予防サロンモニタリング訪問(包括於 中野地区市民館)

7日 職種別会議(社福)(大塚於 豊橋市役所)

令和2年10月

7日 動物園外出(のんほいパーク)

8日 中野地区民生委員定例会(包括於 中野地区市民館)

8日 包括業務打ち合わせ会(包括於 豊橋市役所)

9日 福岡地区民生委員定例会(包括於 福岡地区市民館)

12日 給食会議

13日 わらって元気(介護予防サロン)講座(包括於 中野地区市民館)

14日 動物園外出(のんほいパーク)

15日 寿司祭り

15日 包括事業計画ヒアリング中間報告(包括リモート会議)

18日 誕生日会

20日 職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊於 大清水センター)

21日 職種別会議(保健師職)(鈴木智於 大清水センター)

センター)
27日 職種別会議(社福)(白井於 豊橋市役所)
28日 インフルエンザ予防接種
29日 連絡会議

美光ハイム 日誌

令和2年9月

3日 茶道クラブ

6日 筋力低下予防体操

8日 カラオケ練習会(8・13・20・22・27日)

9日 カラオケクラブ

10日 書道クラブ

15日 筋力低下予防体操

17日 健康体操クラブ

21日 華道クラブ

22日 敬老会

23日 カラオケクラブ

28日 健康チェック

令和2年10月

1日 入居者健診(10/16)

4日 茶道クラブ

13日 カラオケ練習会(11・13・18・25・27日)

14日 カラオケクラブ

15日 書道クラブ

20日 華道クラブ

20日 健康体操クラブ

27日 カラオケクラブ

28日 インフルエンザ予防接種

倶楽荘 日誌

令和2年9月

20日 誕生日会(Bユニット)

23日 くららまつり

25日 倶楽荘連絡会議

25日 防災訓練

26日 イベントランチ(Bユニット)

30日 誕生日会(Cユニット)

令和2年10月

17日 イベントランチ(Aユニット)

18日 イベントランチ(Aユニット)

21日 町内草刈参加

21日 誕生日会(Aユニット)

25日 インフルエンザ予防接種

25日 イベントランチ(Cユニット)

28日 イベントランチ(Bユニット)

倶楽荘連絡会議

GHきらら 日誌

令和2年9月

13日 誕生日会(Bユニット)

21日 敬老会

23日 くららまつり

25日 倶楽荘連絡会議

25日 防災訓練

令和 2 年 10 月
 18 日 町内草刈参加
 19 日 誕生日会(Aユニット)
 21 日 インフルエンザ予防接種
 28 日 倶楽荘連絡会議

斯楽荘日誌

令和 2 年 9 月
 7 日 ユニットリーダーミーティング、連絡会議
 9 日 事故対策委員会勉強会
 14 日 給食会議(於作楽荘)
 17 日 Aユニットミーティング
 21 日 敬老会
 24 日 連絡会議(於作楽荘)
 令和 2 年 10 月
 5 日 ユニットリーダーミーティング、連絡会議
 9 日 排泄勉強会
 14 日 感染症勉強会
 15 日 Bユニットミーティング
 22 日 諮問委員会(佐原副主任於作楽荘)
 29 日 連絡会議(於作楽荘)
 身体拘束勉強会

ベルヴェーハイッツ日誌

令和 2 年 9 月
 2 日 施設内研修(講師 谷山葉剤師 毎週金曜日)
 8 日 職種別会議(堀内主任リモート会議)
 15 日 連絡会議
 20 日 誕生日会(2F)
 21 日 敬老会
 25 日 給食会議
 26 日 秋祭り
 27 日 誕生日会(3F)
 29 日 職種別会議(社会福祉士)(菅沼於豊橋市役所)
 30 日 職種別会議(保健師)(山崎・羽田リモート会議)
 令和 2 年 10 月
 6 日 防火訓練
 職種別会議(堀内主任リモート)
 ケアマネ研修会(堀内主任リモート会議)
 いきいき講座(堀内主任・菅沼・山崎於吉田方地区市民館)
 18 日 誕生日会(3F)
 19 日 インフルエンザ予防接種(20日・26日・27日)
 20 日 連絡会議
 22 日 運動会(3F)
 25 日 給食会議
 26 日 誕生日会(2F)
 27 日 運動会(2F)
 職種別会議(社会福祉士)(菅沼於豊橋市役所)

28 日 職種別会議(保健師)(山崎・羽田リモート会議)

DSJがわ日誌

令和 2 年 9 月
 11 日 マッサージサービス
 14 日 季節の花週間(19日)
 21 日 敬老会
 23 日 マッサージサービス
 25 日 習字教室(佐藤征子講師)
 26 日 ミーティング
 令和 2 年 10 月
 1 日 防災訓練
 6 日 マッサージサービス
 14 日 運動会
 19 日 芸能慰問(金田ひよこ様)
 マッサージサービス
 季節の花週間(24日)
 ミーティング
 24 日 習字教室(佐藤征子講師)
 30 日

麗楽荘日誌

令和 2 年 9 月
 2 日 書道クラブ(加藤美代子講師)
 8 日 給食会議
 15 日 寿司祭り
 17 日 生け花クラブ(加藤温暉講師)
 18 日 連絡会議(入所判定会議)
 21 日 敬老の日 敬老の式典
 28 日 誕生日会
 令和 2 年 10 月
 4 日 給食会議
 7 日 書道クラブ(加藤美代子講師)
 10 日 秋の運動会
 14 日 寿司祭り
 16 日 連絡会議(入所判定会議)
 20 日 はぐるまの会
 27 日 誕生日会
 28 日 防災訓練
 29 日 防災設備点検(常友保守センター)

和光ハイム日誌

令和 2 年 9 月
 5 日 和の会
 8 日 給食会議
 15 日 寿司まつり
 16 日 生花教室(加藤輝子講師)
 21 日 敬老会
 23 日 書道教室(加藤美代子講師)
 28 日 健康チェック
 誕生日会
 令和 2 年 10 月

5 日 和の会
 7 日 生花教室(加藤輝子講師)
 13 日 給食会議
 14 日 寿司祭り
 15 日 体操教室(今泉勝代講師)
 19 日 バスハイク(於泉山閣)
 21 日 書道教室(加藤美代子講師)
 24 日 クラフトバンド教室(森谷とし子講師)
 27 日 誕生日会
 28 日 防災訓練
 健康チェック

奇楽荘日誌

令和 2 年 9 月
 4 日 J笑門訪問販売(毎週土曜日)
 16 日 スイーツバイキング
 24 日 誕生日会
 令和 2 年 10 月
 2 日 J笑門訪問販売(毎週土曜日)
 12 日 コスモス畑見学
 13 日 通報訓練
 22 日 誕生日会
 23 日 防災訓練

GTEきんりゅう日誌

令和 2 年 9 月
 1 日 訪問診療(宇利)
 3 日 訪問診療(吉祥)
 17 日 敬老会
 25 日 GHきらら輪投げ大会
 令和 2 年 10 月
 6 日 訪問診療(宇利)
 7 日 薩摩芋・枝豆の収穫
 8 日 訪問診療(吉祥)
 22 日 収穫祭
 25 日 俺ん家食堂

作楽荘グループ・BVHグループ



作楽荘グループ・麗楽荘グループ

施設概要・ブログ等を公開

編集後記

1 年経つのが早いと身をもつて知るこの頃。
 厚生労働省によると初めて日本人のコロナ感染者が確認されたのは 1 月 16 日。日本で流行し始め、約 1 年もの間、実態が把握しきれないウイルスとその情報に振り回されています。このウイルスにまつわる症状も現われ、「自粛疲れ・コロナうつ」なんて言葉も聞かれるようになりました。

在宅時間が長くなり「断捨離」をする人が増えたと聞きますが、この「断捨離」はヨガの行法だそうです。物を対象として考えがちですが、人間関係、仕事、時間などを対象として考える。と現在の生活様式にも当てはまります。

ヨガ初級編を 1 年経験した私としては初耳でしたが、ヨガのポーズで日光を浴びてセロトニンの分泌を促し、「断捨離」をぜひ実践したいと思います。(Y・A)